

2015年2月実績概要（メモ）

（2015. 3. 19）

1. 生産動向

イ) エチレン 565, 100トン

前月比 ▲8.0% (▲49,000トン)

前年同月比 ▲1.3% (▲7,700トン)

生産増減に係る諸要因	＜前月比＞	＜前年同月比＞
日数増減	▲ 9.7	－
定修要因等	－	+ 1.9%
能力増減	－	▲ 4.7%
稼働率変動	+ 1.7%	+ 1.5%
生産増減率	▲ 8.0%	▲ 1.3%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月93.1%→当月94.9%←前年同月93.5%

定修プラント：前月なし→当月なし←前年同月1社1プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、主に日数の減少からLD、HD、PP、PS、SM、EG、AN、SBR、ベンゼン、トルエンなどの14品目でマイナス。塩ビモノマー、BR等の3品目はプラスとなった。

前年比では、稼働率要因等からLD、PP、PS、AN、SBR、ベンゼン、キシレンなどの14品目でマイナス。塩ビモノマー、BR、トルエンの3品目のみがプラスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、LDでは日数減に加えて定修入りもありマイナスになった。HD、PP、PSでは日数減や稼働率要因からマイナスとなった。

前年比では、稼働率要因等からLD、PP、PSはマイナス、HDはほぼ前年並みとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、ユーザー側での当用買いのスタンスは続いているもののLD、HD、PPでは主用途のフィルム分野や射出成形分野の出荷が増加しプラスとなった。PSは前月の出荷レベルがやや高めであったこともあり当月はマイナスとなった。

前年比では、LD、HDは微増となった。PP、PSは前年の出荷が消費税増税前の駆け込み需要増から高めであったこともありPPは微減、PSはマイナスとなった。

ハ) 輸出

アジア域内の需要については、中国の旧正月休暇の影響もあり低調に推移しているが、原料を巡る動向も変化しつつあり、当月は前月比でLD、HDが二桁台のプラスとなった。前年比でもLD、HD、PPでプラス、PSのみがマイナスとなっている。

ニ) 在庫

在庫量は、LD、HD、PPの3樹脂で減少し、PSは微増となった。在庫率(季節調整済)ではLD、HDは前月に対してやや低下、PPは前月並、PSは若干上昇した。在庫水準としては、LD、PSでやや高めHD、PPはほぼ適正水準となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		1月末	2月末
LD	▲ 9,000	3.6	3.3
HD	▲ 700	2.6	2.4
PP	▲ 6,300	2.7	2.7
PS	+ 200	1.3	1.4

以上